

# 抄遊交

それは一九七一

出版の印税が充てられている。

年の暑い夏の午後であった。永瀬隆氏は庭木に水をかけていた。永瀬氏

私が永瀬氏宅を訪れたのはアジア邦楽演奏キヤラバン構想を説明し、タイでの演奏場所を紹介してもらったためだった。アジア邦楽演奏キヤラバンとは「琴、

は倉敷市にある「青山英語学院」の経営者であった。永瀬氏は第二次世界大戦中はタイ国駐屯軍司令部付陸軍通訳であった。イギリス映画「戦場にかける橋」のモデルとなった泰緬(たいめいん)鉄道建設にかかわり、多くの連合軍捕虜とアジア人労働者の死を目にした。帰国後その体験を死蔵させることなく、平和に向けて

三味線、尺八などの邦楽をアジアに紹介する日本初の演奏旅行」であった。動機は単純。日ごろ、岡山大学医学部の邦楽部で一緒に練習している医学生や看護学生に私が学生時代(六九年)に歩いたアジアを経験させてやりたい、そして邦楽演奏ならもっと意義があるだろうということだった。

元連合軍捕虜との再会など和解に努めようとする行動は分かりやすい。

菅 波 茂

永瀬氏の答え。「医学生でも健康診断はできるのではないか。ぜひ、タイとビルマ国境にあるモン族の開拓農場の住民のためにやってくれないだろうか」。

## 橋をかけるへ平和

永瀬氏の死者に対する祈念は「クワイ河平和寺院」建立となった。自らも剃髪(ていはつ)して僧(そう)のよの儀式に参加。この寺院建立はタイの人たちに相当のインパクトを与えて相互信頼感を確立した。永瀬氏の行動の基点には捕虜生活から帰国の途につく時に飯(い)ごう一杯の砂糖をくれたタイ人の温かさに対する感謝が常にある。クワイ河平和

この農場はカンチャナブリ県のクワイ河上流にあった。七二年に「アジア邦楽演奏キヤラバン」とともに「岡山大学医学部クワイ河医学踏査隊」が岡山を出発した。これが八四年に発足したAMDA(アジア医師連絡協議会)の源流である。永瀬氏には

基金を設立して山岳少数民族や孤児の教育に貢献している。この基金は永瀬氏の講演の謝礼や

現在に至るまで公私共にお世話になっている。(すがなみ・しげる)AMDA代表)